

# 南白小の未来をえがく！

令和5年6月27日

府中市立南白糸台小学校

校長 西尾 克人

～子供たちの未来が明るくなるように～

校長室だより 第6号

## 問題発見・解決能力の向上

教科を横断して付ける能力として、(1)言語能力、(2)情報活用能力、(3)問題発見・解決能力の3つが示されています。

そのうち(3)問題発見・解決能力は、物事(各教科の学習内容)の中から問題をみだし、その問題を定義し、解決の方向性を決定し、解決方法を探して計画を立て、結果を予測しながら実行し、振り返って次の問題発見・解決につなげていく過程です。理科、算数、社会、総合的な学習等はイメージしやすいと思いますが、他の教科でも問題発見・解決能力を重視しています。特に理科でずっと大事にしてきた能力が、問題発見・解決能力です。その育成を目指した3年生の理科の学習を紹介します。

## 理科…3年生 昆虫の体のつくり【実物の観察を大事にして】

### ○小学校での昆虫の定義

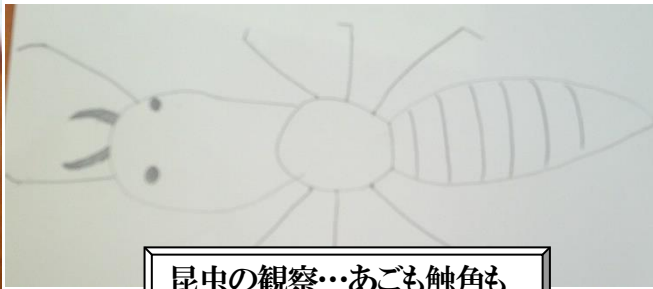
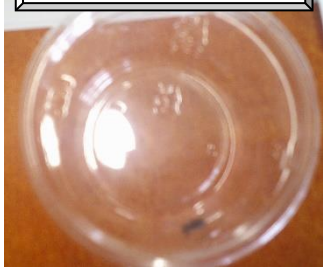
昆虫の育ち方には一定の順序があること。体のつくりとしては、①成虫の体は頭、胸及び腹からできていること。(3つに分かれている)②脚が6本、胸からはえていること。が昆虫の定義です。



アリを捕まえる！

あらかじめ、アリの絵をかかせています。これが予想になります。その後、実際にアリを捕まえ、小さなプラスチック容器に入れます。

### 小さな容器で観察



昆虫の観察…あごも触角も

### 本物にしっかり向き合う



理科の学習内容である自然にたっぷりつかっている様子は、とても楽しそうです。

そして観察を始めると、真剣に観察画をえがき始めます。これが観察の結果になります。体が3つに分かれ、あごにあるキバや触角が2本ずつ、脚が6本、えがかれていました。3つの部位を「頭」「胸」「腹」であると、科学的な用語を教師が教えました。実物を観察する場面では、子供の心もはずんでいるようでした。昆虫の体のつくりについて、観察しながら問題を解決する姿は、問題発見・解決能力を高めます。

## 理科…3年生 昆虫の体のつくり【端末を活用し、さらによりよい理解を！】



クラスルームから入ってね

### すごい！見たい箇所が見える！



全ての昆虫を観察することはできません。昆虫の共通性に気付かせ、昆虫の定義を確実に教えるためには、充実した「NHK for School」の「ものすごい 図鑑」を活用し、育てていたチョウの立体画像を確かめて

いました。立体的に観察し、楽しくまとめることができました。端末の学習と本物の観察とをどう組み合わせればよいか、考えることができた学習でした。